

## 経歴 (2024年7月現在)

河合 政之 かわい まさゆき (ビデオ・アーティスト/オーガナイザー)

デヴィッド・エリオット (初代森美術館館長) に「日本の最もエキサイティングなビデオ・アーティストの一人」と賞賛を受けるなど、その哲学的で先鋭的な映像作品は高い評価を受け、世界30カ国以上で上映・展示。映画、現代美術、メディア・アートなど既成のジャンルに捕われない幅広い作風と活動を展開する。NYクイーンズ美術館 (アメリカ) や国立国際美術館 (日本) などにコレクションされている。文化庁、ポラ美術振興財団の派遣芸術家としてNYで活動する他、イェルサレム、パリなどのアーティスト・イン・レジデンスに招待。新しい時代のシーンを切り開く多才なアーティストとして各界から注目されている。作家活動と並行して、オーガナイザーとして国際映像展他のプロジェクトを多数企画主催、また思想・批評・文学等の文筆もおこなう。

ビデオ・アーティストとしては国内展に、森美術館・ヤングビデオアーティストイニシアティブ (個展、02年)、東京ワンダーサイト (個展 04年、他グループ展多数参加)、MORI YU GALLERY (個展、2013年)、「河合政之：生成するモーメント - 人間の支配を超えたイマジネーション」 (個展、2024年、金沢21世紀美術館) など。国外展にヨーロッパメディア芸術祭 (01&02独) シドニー映画祭 (01年、濠) Microwave (01年、香港) リーズ国際映画祭 (01年、英) Viper (01年、スイス) ロッテルダム国際映画祭 (02年、蘭) クレルモンフェラン短編映画祭 (02年、仏)、オーバーハウゼン国際短編映画祭 (02年、独) ハンブルグ国際短編映画祭 (02、独) クルティザンヌ短編映画祭 (03年、ベルギー)、ニューヨーク・アジア現代芸術週間 (03年&05年)、クイーンズ美術館個展 (03年、ニューヨーク)、Chi-Wen Gallery 個展 (08年、12年、台北) 他。

オーガナイザーとしては、99年ビデオアーティストワークショップを発足。01年より04年まで、特定非営利活動法人ビデオアートセンター東京を設立、代表に就任し、またビデオアートをテーマとした先駆的カフェであったファイドロスカフェ (東京・渋谷) の設立よりアートディレクターとして活動。この間「inVex 日欧新世代ビデオアート交流展 (02年)」、「ビデオアートネットワーク展 telepidemic! (02年、神戸アートビレッジセンターとの共催)」、「モーリス・ルメートルとレトリズム展 (02年、東京日仏学院との共催)」など国際交流基金、ポラ美術振興財団、社団法人私的録音補償金管理協会 (SARAH) 他助成を受けた国際映像展他のプロジェクトを多数企画主催、国際的なビデオ・アーティストのネットワークを形成し、社会に知らしめる活動を行う。特に戦後フランスのアヴァンギャルド運動「レトリズム」の中心人物である伝説的アーティスト、モーリス・ルメートルの初来日を実現させた展覧会は、大きな反響を呼んだ。2008年より編集者・小倉裕介 (現代企画室) やデザイナーとの多分野コラボレーション・プロジェクト「REF lab. (レフラボ)」を発足、「visual philosophy」をテーマに、web、書籍、映像を横断する新たなメディア文化の立ち上げをおこなっている。2011年よりポンピドゥーセンター主催による毎年開催の映像フェスティバル「オール・ピスト東京」の立ち上げに参加、第1回 (2011年6月) よりプログラムディレクターをつとめる。また、2012年5月には、第58回オーバーハウゼン国際短編映画祭の国際コンペティション部門審査員をつとめる。

主な執筆活動として著書に、『リフレクション ヴィデオ・アートの実践的美学』 (水声社、単著、2018年)、編著書に『僕らは映像で思考する - シームレス・メディアの時代と video art (見ることの技術/芸術)』 (現代企画室、2013年)、共著書に『情報社会を知るクリティカル・ワーズ』 (フィルムアート社、共著、2004年)、『映像編集の理論と実践』 (法政大学出版局、共著、2008年)、「乏しき時代のメディアアーティスト」 (『美術手帖』2004年6月号)、など。

オフィシャルウェブサイト:

<http://www.masayukikawai.com>

## 略歴

- 1972年 大阪生まれ。
- 1994年 ヴィデオアート制作を開始。
- 1996年 東京大学文学部美学芸術学科卒業（文学士）。
- 1999年12月より「ヴィデオアーティスト・ワークショップ」を瀧健太郎、服部かつゆきと主宰。
- 2001年2月より2004年5月まで特定非営利活動法人「ヴィデオアートセンター東京」を瀧健太郎、服部かつゆきと主宰、同代表。
- 2001年12月より2004年11月までヴィデオアートカフェ「ファイドロスカフェ」（東京・渋谷）のアートディレクター。
- 2004年 ヴィデオアートセンター東京およびファイドロスカフェを辞め、フリーランスとなる。
- 2004年11月より12月 イェルサレム視覚芸術センター（JCVA）（イスラエル）にて滞在制作。
- 2005年1月より2005年12月 文化庁在外派遣芸術家として助成を受けニューヨークにて滞在制作。
- 2005年1月より6月 International Studio & Curatorial Program (ISCP)（ニューヨーク）にて滞在制作。
- 2006年10月より2007年10月 ポーラ美術振興財団派遣芸術家として助成を受けニューヨークにて滞在制作。
- 2008年11月より2009年1月 東京都／パリ市／Culturefrance の二国間アーティスト派遣プログラムにて、パリ市Cite International des arts および Le Cube にて滞在制作。
- 2008年よりREF lab. を小倉裕介（現代企画室）と設立、代表に就任。
- 2009年よりポンピドゥーセンター主催による映像フェスティバル「オール・ピスト東京」プログラムディレクター
- 2012年5月 第58回オーバーハウゼン国際短編映画祭、国際コンペティション部門審査員。
- 2014年3月 東京大学大学院総合文化学科学専攻（表象文化論）博士前期課程修了（学術修士）。
- 2019年3月 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻（表象文化論）博士後期課程単位取得退学

## 受賞歴

- 2001年 ボーフム国際ビデオフェスティバル11「審査員奨励賞」受賞  
"a ≠ a あるいは踊り続けるデヴァタたちのために" (2000 16min.)
- 2002年 オーバーハウゼン国際短編映画祭「審査員奨励賞」受賞  
"スペクタクルの社会における神学的状況について"(2001 6min.)  
森美術館「Young Video Artists Initiative」受賞  
"不在" (2002-2004)
- 2004年 イェルサレム財団より助成。
- 2005年 文化庁より助成（在外芸術家研修派遣）。
- 2006年 ポーラ美術振興財団より助成（在外芸術家研修派遣）。
- 2008年 トーキョーワンダーサイト／パリ市／Culturefrance 二国間アーティスト派遣プログラムより助成。
- 2012年 トーキョーワンダーサイト「トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル」特別賞 "Video Feedback Live Performance"

## コレクション (主なもの)

金沢21世紀美術館  
国立国際美術館 (大阪)  
東京工芸大学図書館  
オーバーハウゼン国際短編映画祭 (ドイツ)  
クイーンズ美術館 (アメリカ・ニューヨーク)  
ファッション美術館 (韓国・ソウル)  
ロバート・ローゼンクランツ・コレクション (アメリカ・ニューヨーク)

## 個展 (主なもの)

1997

「the Wall -ethics of terrorists-」ビデオインスタレーション&パフォーマンス  
(東京・浜松町、シアターアンネフォーレ)

1998

「Catacomb」ビデオ上映&パフォーマンス (シアターアンネフォーレ)  
「Capricornus」ビデオ上映&パフォーマンス (東京・渋谷、ギャラリー・ル・デコ)

1999

「Videologue」ビデオインスタレーション&パフォーマンス (東京・六本木、ストライプハウス美術館)  
ビデオパフォーマンス (ストライプハウス美術館)、ビデオパフォーマンス (大阪・北浜、ワークルーム)

2002

「Videologue Performance for Phaidros」ビデオパフォーマンス (ファイドロスカフェ、東京・渋谷)  
「Videoart Channel vol.15」ビデオ上映 (art Lab. GOLDENSHIT、東京・中野)  
「Young Video Artists Initiative 06」ビデオインスタレーション (THINK ZONE、東京・六本木)  
「ニューヨーク・アジア現代芸術週間」ビデオ展示 (アメリカ・ニューヨーク、クイーンズ美術館)

2004

「万葉／東京」公共空間ビデオインスタレーション (トーキョーワンダーサイト渋谷、東京・渋谷)  
「De Visione Absentis (不在者を観ることについて)」ビデオインスタレーション (トーキョーワンダーサイト、東京・お茶の水)  
「Phaidros cafe videoart showing 河合政之特集」ビデオ上映 (ファイドロスカフェ、東京・渋谷)

2005

Issue Project Room ビデオ展示 (アメリカ・ニューヨーク)

2006

「メランコリック・ユートピア」ビデオインスタレーション (ヨコハマポートサイドギャラリー、横浜)

2008

「神學現形"Theology of Spectacle"」ビデオ展示 (Chi-Wen Gallery & SPOT-Taipei Film House, 台北、台湾)

2010

「われわれ自身よりもさらに儂い、このさまよえる者たちは誰か」ビデオ展示 (東京、BANQUE)

2011

「『万葉／東京』より六枚の言の葉」ビデオ展示 (東京、Bar Grisetto)  
「Masayuki Kawai's Video Feedback Live」ビデオパフォーマンス (東京、UPLINK Factory)

2012

「Feedback : Reflexion」ビデオ展示 (台北、台湾、Chi-Wen Gallery)

2013

G-Tokyo と Aesop によるコラボレーション (東京、Aesop 青山店)

「Feedback : Reflexion」ビデオ展示 (東京、京都、MORI YU GALLERY)

2014

「河合政之 全方位ビデオアートの軌跡」ビデオ上映 (東京、UPLINK)

2015

「VIDEORGANISM - Infinite Mutation」ビデオ展示 (台北、台湾、Chi-Wen Gallery)

「資本空間—スリー・ディメンショナル・ロジカル・ピクチャーの彼岸 vol.6 河合政之」ビデオ展示 (東京、ギャラリーαM)

2016

「natura : data」ビデオ展示 (京都、MORI YU GALLERY)

「NEMIKA Art Fair」ビデオ展示 (東京、NEMIKA広尾店、二子玉川店)

2020

「CHAOSMOS / カオスモス」ビデオ展示 (東京、カプセルギャラリー)

「河合政之：生成するモーメント - 人間の支配を超えたイマジネーション」ビデオ展示&パフォーマンス (金沢21世紀美術館)

## グループ展 (主なもの)

1998

「Material Vanity Experiments」ビデオパフォーマンス (東京・恵比寿、イーストギャラリー)

「Scarabaeus」ビデオ上映&パフォーマンス (東京・高円寺、文化フォーラム)

1999

ビデオパフォーマンス (東京・西荻窪、ピン・スパーク)

ビデオパフォーマンス (ギャラリー・ル・デコ)

「ふくいビエンナーレ8」ビデオパフォーマンス (福井市立美術館)

2000

「第2回ビデオマラソン」ビデオ上映 (アメリカ・ニューヨーク、Art in General)

「ゴールドエンアワー」ビデオ上映 (東京・中野、art Lab. GOLDENSHIT)

ビデオパフォーマンス (京都・西陣、町家倶楽部)

「VIDEO ART 無礼講にする。vol.6」ビデオ上映 (東京・銀座、ニッパーズ銀座)

2001

「パーソナルビジョン2001」ビデオ上映 (神戸・新開地、神戸アートビレッジセンター)

「Videoart Session」ビデオ上映&レクチャー (大阪・梅田、セミナー)

「ヨーロピアンメディアアートフェスティバル2001」ビデオ上映 (ドイツ・オスナブリュック)

「ボーフム国際ビデオフェスティバル11」ビデオ上映 (ドイツ・ボーフム)

「ビデオアートチャンネルvol.1~3」ビデオ上映 (東京・中野、art Lab. GOLDENSHIT)

「ヤング・パースペクティヴ2001」ビデオ上映 (東京・渋谷、イメージフォーラム)

「VIDEO ART 無礼講にする。vol.7」ビデオ上映&シンポジウム参加 (ニッパーズ銀座)

「d>art 01/シドニー映画祭」ビデオ上映 (オーストラリア・シドニー)

「Japanisch festival」ビデオ上映 (ドイツ・ベルリン、Shokoladen)

「BUZZ CLUB -NEWS from JAPAN-」インスタレーション参加 (アメリカ・ニューヨーク、PS1)

「マイクロウェブフェスティバル2001」ビデオ上映 (香港)

「メディアアートフェスティバル・フリーズラント2001」ビデオ上映（オランダ・フリーズラント）  
「第15回リーズ国際映画祭」ビデオ上映（イギリス・リーズ）  
「VIDEO ART 無礼講にする。vol.8」ビデオ上映（福島県立美術館）  
「Viper 21」ビデオ上映（スイス・バーゼル）  
「Cave Presents Witness」ビデオ上映（アメリカ・ニューヨーク、CAVE）  
「Phaidros CAFE オープニングイベント」ビデオパフォーマンス（東京・渋谷、ファイドロスカフェ）  
「Batofar cherche Tokyo」ビデオ上映&シンポジウム参加（フランス・パリ、Batofar）  
「L'Empire des Signifiants' returns from Batofar」ビデオ上映（東京・渋谷、ファイドロスカフェ）

## 2002

「第4回ビデオマラソン」ビデオ上映（アメリカ・ニューヨーク、Art in General）  
「ビデオカフェ」ビデオ上映（香港、Videotage）  
「2002年ロッテルダム国際映画祭」ビデオ上映（オランダ・ロッテルダム）  
「2002年クレルモンフェラン短編映画祭」ビデオ上映（フランス・クレルモンフェラン）  
「VideoMixtape Volume One / L'Empire des Signifiants」ビデオ上映（アメリカ・サンフランシスコ、Pond）  
「Libre, pure et dure!」ビデオ上映（フランス・パリ、シネマテークフランセーズ）  
「Nippon Connection」ビデオ上映（ドイツ・フランクフルト）  
「ヨーロピアンメディアアートフェスティバル2002」ビデオ上映（ドイツ・オスナブリュック）  
「ボーフム国際ビデオフェスティバル12」ビデオ上映（ドイツ・ボーフム）  
「2002年オーバーハウゼン国際短編映画祭」ビデオ上映（ドイツ・オーバーハウゼン）  
「ビデオアートチャンネルvol.15」ビデオ上映（東京・中野、art Lab. GOLDENSHIT）  
「2002年ハンブルグ国際短編映画祭」ビデオ上映（ドイツ・ハンブルグ）  
「TELEPIDEMIC!」ビデオ上映&シンポジウム参加（神戸アートビレッジセンター）  
「バンドン・ビデオ・映画・ニューメディア芸術フォーラム」ビデオ上映（インドネシア・バンドン）  
「Videoart Channel vol.18」ビデオ上映（art Lab. GOLDENSHIT、東京・中野）  
「festival e-phos 2002」ビデオ上映（ギリシャ・アテネ）  
「AIT展」ビデオ上映（東京・新橋）  
「ETIUDA 2002 IX 国際映画祭」（ポーランド・クラクフ）  
「アーティストナイトvol.1」ビデオ上映（トーキョーワンダーサイト、東京・お茶の水）  
「4e Festival des Cinema Differents de Paris」ビデオ上映（フランス・パリ）  
「Phidros Cafe 1st Anniversary」ビデオ上映（東京・渋谷、ファイドロスカフェ）  
「YVAI in Berlin」ビデオ上映（ドイツ・ベルリン、東アジア美術館）

## 2003

「SEFOMA 2003」ビデオ上映（韓国・ソウル）  
「Day of the Revolutionay: Clark in Context」ビデオ上映（アメリカ・ワシントン、ワシントン現代美術館）  
「Festival Nemo」ビデオ上映（フランス・パリ、フォーリウム・デ・ジマージュ）  
「Festival Signes de Nuit」ビデオ上映（フランス・パリ、Cinema Balzac）  
「YVAI in Nippon Connection」ビデオ上映（ドイツ・フランクフルト）  
「Williamsburg Bridges Asia」ビデオ上映（アメリカ・ニューヨーク）  
「クルティザンヌ短編映画祭」ビデオ上映（ベルギー・ゲント）「OKビデオ・ジャカルタビデオ祭」ビデオ上映（インドネシア・ジャカルタ）  
「アーティストナイトvol.2」ビデオ上映、パフォーマンス（トーキョーワンダーサイト、東京・お茶の水）  
「aisle.com video experimental e video arte」ビデオ上映（ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ近代美術館）  
「東京デザイナーズウィーク・コンテナ展」ビデオインスタレーション（東京・お台場）  
「Old Habits Die Hard」ビデオ上映（ドイツ・ベルリン、Sparwasser）  
「telepidemic! in ジュネーヴ」ビデオ上映（スイス・ジュネーヴ）

「Hors limites」 ヴィデオ上映 (フランス・パリ、シネマテークフランセーズ)  
「City - video - object」 ヴィデオ上映 (フランス・パリ、La Maison des arts de Creteil)  
「telepidemic! in ベルリン」 ヴィデオ上映 (ドイツ・ベルリン、b-books)  
「telepidemic! in 東京」 ヴィデオ上映 (東京・銀座、ポーラミュージアムアネックス)

#### 2004

「Strictly Public in Transmediale」 公共空間ヴィデオ上映 (ドイツ・ベルリン、クーダムの公共巨大スクリーン)  
「アーティストナイトvol.3」 ヴィデオ上映、パフォーマンス (トーキョーワンダーサイト、東京・お茶の水)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (イギリス・ノーウィッチ、Norwich Gallery)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (ドイツ・ハンブルグ、Hamburger Bahnhof)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (ノルウェー・オスロ、Kunstneres Hus)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (トルコ・イスタンブール、Platform)  
「VJナイト」 ヴィデオパフォーマンス (東京・渋谷、ファイドロスカフェ)  
「滅亡ノススメ」 (「ノストラダムスは生きていた!展」) ヴィデオ上映 (東京・早稲田、アップリンクギャラリー)  
「Twilight Tomorrow」 ヴィデオ上映&パフォーマンス (シンガポール、シンガポール美術館)  
「Even the Moon Is Not Autonomous」 ヴィデオ上映 (ドイツ・ワイマール、ACCギャラリー)  
「Imagens Que Voce Jamais Vera Na TV」 ヴィデオ上映 (ブラジル・サンパウロ、SESC Vila Mariana)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (ドイツ・ドレスデン、MOTORENHALLE)  
「Digital Art Show in Shiodome」 ヴィデオ上映 (東京・汐留、汐留シティセンター)  
「SENI - Home Front」 ヴィデオ上映 (シンガポール、シンガポール美術館)  
「Video Zone 2」 ヴィデオ上映 (イスラエル・テル・アヴィヴ)  
「サイト映像展2004」 ヴィデオ上映 (ソミドホール、東京・銀座)

#### 2005

「Open Video Call」 ヴィデオ上映 (アメリカ・ニューヨーク、Artists Space)  
「Old Habits Die Hard」 ヴィデオ上映 (アメリカ・ニューヨーク、Art in General)  
「Open Weekend」 ヴィデオインスタレーション (アメリカ・ニューヨーク、ISCP)  
「International Video Festival at Rochester Art Center」 ヴィデオ上映 (アメリカ・ミネアポリス、Rochester Art Center, Rochester)  
「Video Integration」 ヴィデオ上映 (セルビア・モンテネグロ・ベオグラード、Belef Center)  
「Prog:me」 ヴィデオ上映&インスタレーション (ブラジル・リオ・デ・ジャネイロ、Centro Cultural Telemar)

ヴィデオ上映 (アメリカ・オクラホマ、Price Tower Arts Center)

「第25回国際実験映画/ヴィデオ祭」 ヴィデオ上映 (クロアチア・ザグレブ)  
「Östersunds konstvideofestival」 ヴィデオ上映 (スウェーデン・オステルサンド)  
「The Gift:クイーンズ美術館コレクション展」 ヴィデオ上映 (アメリカ・ニューヨーク、クイーンズ美術館)  
「The KO Video Festiva」 (南アフリカ、ダーバン、Art Space Durban、クワ・マシュ、Ekhaya Media

Lab.)

#### 2006

「World Videoart Channel」 ヴィデオ上映 (福岡、アートスペーステトラ)  
「World Videoart Channel」 ヴィデオ上映 (名古屋、シュガー・ケイン)  
「ニューヨーク・アジア現代芸術週間」 ヴィデオ上映 (アメリカ・ニューヨーク、ブロンクス美術館)  
「Move on Asia-Crash and Network」 ヴィデオ上映 (東京、トーキョーワンダーサイト)  
「Move on Asia-Crash and Network」 ヴィデオ上映 (中国・上海、Shanghai Duolun Museum of Modern Art)  
「Move on Asia-Crash and Network」 ヴィデオ上映 (中国・北京、Arario Beijing)  
「Move on Asia-Crash and Network」 ヴィデオ上映 (韓国・ソウル、LOOP gallery)  
「d/Art/2006 Festival」 ヴィデオ上映 (オーストラリア・シドニー、オペラハウス)

「Mois de la CULTURE JAPONAISE <<PASSION>>」ビデオ上映（スイス・ジュネーブ、日本総領事館ジュネーブ現代映像センター）

「reverberações 2 - index generator 2」ビデオ上映（ブラジル・サンパウロ、Centro Cultural da Juventude - CCJ）

「reverberações 2 - index generator 2」ビデオ上映（ブラジル・ロンドリーナ、Casa de Cultura - UEL）

「Dumbo Transitions」ビデオ上映（アメリカ・ニューヨーク、Safe-T-Gallery）

「The International Festival of Videoart of Valencia」（スペイン、ヴァレンシア、La Sala Naranja）

2007

「Dumbo Transitions 2」ビデオ上映（アメリカ・ニューヨーク、Safe-T-Gallery）

「Japanese Eye」ビデオ上映（デンマーク・コペンハーゲン、Ovegaden - The Institute of Contemporary Art）

「ZAIM de FESTA YOKOHAMA2007」ビデオ上映（横浜、ZAIM）

「交差 10 Japanese artists」ビデオ上映（北アイルランド・ベルファスト、Queen Street Studios Gallery）

「Index Generator 2.2」ビデオ上映（イギリス・ロンドン、cogcollective）

「[PAM] @ Scope Hamptons 2007」ビデオ上映（アメリカ・NY、ハンプトン）

2008

「協働スタジオプログラム 都市への対話と関わりー創造教育に向けて 東京ーロンドン文化交流プログラム発表展」ビデオ上映（東京、トーキョーワンダーサイト）

「Berlinale: Directors Lounge」ビデオ上映（ドイツ・ベルリン）

「Global Art-Video」ビデオ上映（インド・ニューデリー、La Sala Naranja participa en el CeC&CaC）

「Who's Next」ビデオ・インスタレーション（東京、Museum at TAMADA PROJECTS）

「日本映像学会第34回大会・シンポジウム『映像表現における実験性』」シンポジウム参加&ビデオ上映（京都、京都精華大学）

「visual philosophy salon vol.0」ビデオ上映&レクチャー（東京、アップルストア銀座）

「visual philosophy salon vol.1」ビデオ上映&レクチャー（東京、アップルストア銀座）

「visual philosophy salon vol.2」ビデオ上映&レクチャー（東京、アップルストア銀座）

「河合政之／瀧健太郎」ビデオ上映（韓国、ソウル、Indie Space）

2009

「Espace Lounge」ビデオ上映（フランス・パリ、Le Cube）

「EXPERIMENTAL SOUND & ART FESTIVAL」音楽とのライブ上映（東京、トーキョーワンダーサイト本郷）

「Masayuki Kawai/Baba Hilman」ビデオ上映（フランス・パリ、Cite International des arts）

「visual philosophy salon vol.3」ビデオ上映&レクチャー（東京、アップルストア銀座）

「Hors Pistes Japon」ビデオ上映&シンポジウム参加（東京日仏学院）

「東京造形大学オープンキャンパス」ビデオパフォーマンス（東京造形大学）

「FEAVS 2009」ビデオ上映&パフォーマンス（大阪、月眠ギャラリー）

2010

「Live Explosion」ビデオ展示&パフォーマンス（横浜、BankART）

「Red Zone」ビデオパフォーマンス（東京、小金井シャトー2F）

「High Wolf Japan Tour 2010」ビデオパフォーマンス（東京、SuperDeluxe）

「六法現象」ビデオ展示（東京、Bar Grisette）

「SuperDeluxe 8th Anniversary」ビデオパフォーマンス（東京、SuperDeluxe）

2011

「Live Beam! vol.1」ビデオパフォーマンス（東京、SuperDeluxe）

「われわれ自身よりもさらに儂い、このさまよえる者たちは誰か：写真展」写真展示（東京、BANQUE）

「オルタージャパンの冒険 phase 01：禅と、サイケデリック」ビデオインスタレーション（東京、Sprout Curation）

「Hors Piste Tokyo 2011」ビデオ上映&パフォーマンス&シンポジウム参加（東京、アップリンク、スー

パーデラックス)

「SAIHATE」ビデオパフォーマンス (SARAVAH東京)

「モルガナ実験室」ビデオパフォーマンス (東京、国分寺Morgana)

「トーキョー・エキスペリメンタル・フェスティバル」ビデオパフォーマンス (東京、トーキョーワンダーサイト渋谷)

2012

「Hors Piste 2012」ビデオ上映 (フランス・パリ、ポンピドゥセンター)

「田中敦子ーアート・オブ・コネクティング」ビデオ展示&パフォーマンス (東京都現代美術館)

「Hors Piste Tokyo 2012」ビデオ上映&パフォーマンス&シンポジウム参加 (東京、アップリンク、WWW)

「Live Beam! vol.2」ビデオパフォーマンス (東京、M Event Space & Bar)

「Fukukou Live × Hors Pistes Minamisoma」ビデオパフォーマンス (南相馬・朝日座、福島)

「JOLT Japanese Australian Sonic Festival」ビデオパフォーマンス (東京、スーパーデラックス)

「Audio Visual Performance」ビデオパフォーマンス (東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE MMホール)

2013

「トーキョー・エキスペリメンタル・フェスティバル」受賞記念公演 ビデオパフォーマンス (東京、トーキョーワンダーサイト本郷)

「映像はもう始まったか vol.2, vol.4」ビデオパフォーマンス、上映 (東京、dommune)

「beautiful machine」ビデオパフォーマンス (東京、落合soup)

「July in Palestine/instant vidéo」ビデオ上映 (パレスティナ・ラマラー、Khalil Sakakini Cultural Centre)

「ニューイ・ブランシュ京都 2013」ビデオパフォーマンス (京都、アンスティチュ・フランセ関西)

「超京都 2013」展示 (京都、平成の京町家)

「Sonic Flock "EXTREMITIES」ビデオパフォーマンス (オーストラリア・メルボルン、フェデレーションスクエア)

「26e Instants Vidéo - 50 ans d'arts vidéo internationaux」ビデオパフォーマンス、上映 (フランス・マルセイユ、フリッシュラ・ベル・ドウ・メ)

「64ème édition de JEUNE CREATION」ビデオパフォーマンス (フランス・パリ、104)

「すすきのアートプロジェクト」ビデオパフォーマンス、展示 (札幌、すすきの)

「+C パーティ」ビデオパフォーマンス (クリエイティブセンター大阪)

「Lo-Vi - ビデオアウトロー展」展示 (東京、Bar Grisetto)

「第18回 アートフィルムフェスティバル」 (愛知芸術文化センター)

2014

「CRYSTAL HAZARD」展示 (MORI YU GALLERY 京都、東京)

「JEANPAULKNOTT at Edition OMOTESANDO HILLS」展示 (東京、Edition)

「アジア・アナキー・アライアンス展」ビデオパフォーマンス (トーキョーワンダーサイト渋谷)

「アートフェア東京 2014」展示 (東京国際フォーラム)

「KG+ NIGHT」ビデオパフォーマンス (京都、メトロ)

「VIDEOS」展示 (MORI YU GALLERY 東京)

「HORS PISTES TOKYO 2014」ビデオパフォーマンス、上映 (東京、UPLINK、Dommune、Berry)

「アート名古屋 2014」 (愛知、ウェスティンホテルキャッスル)

「beautiful machine」ビデオパフォーマンス (東京、幡ヶ谷Foreslimit)

「ART TAIPEI 2014」 (台湾、台北世界貿易中心)

2015

「ビデオアート・プロムナード in 阿佐ヶ谷」展示 (東京、阿佐ヶ谷市街)

「當。滲透影像媒體藝術節2015」上映 (台湾、台北、TamTamART)

「現代京都藝苑 2015」展示 (京都、五條坂京焼登り窯&The Terminal KYOTO)

「TTM: IGNITION BOX 2015」ライブパフォーマンス (東京都庭園美術館)

「Hors Pistes Kyoto 2015」ライブパフォーマンス (アンスティチュ・フランセ関西一京都)



「VIDEOs」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「絶対の今 - いま・なぜ・ZENと映像なのか」展示 (アツコバルー、東京)

「On Site Artfest - On Site, Sound」ライブパフォーマンス (台湾、台北、URS21中山創意基地)

2016

「TTM: IGNITION BOX 2016」ライブパフォーマンス (東京都庭園美術館)

「Dark Science」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「Acte: Volumes at La Vitrola」ライブパフォーマンス (La Vitrola, Montreal, Canada)

「THE MOVING IMAGE RESEARCH LABORATORY (MIRL) @ McGill PRESENTS

-RHYTHM OF VIDEO FEEDBACK」ライブパフォーマンス (McGill University, Montreal, Canada)

「Media as Singularities」ライブパフォーマンス (NYU Einstein Auditorium, NY, USA)

「Art in Park Hotel Tokyo 2016」ライブパフォーマンス (パークホテル東京)

「HORS PISTES TOKYO 2016」ライブパフォーマンス (SuperDeluxe、東京)

2017

「8th Cairo Video Festival」ライブパフォーマンス (エジプト・カイロ、Townhouse Rawabet Theatre)

「3331 Art Fair -Prime Pick」展示 (アーツ千代田3331、東京)

「UNDULATIONISM V」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

2018

「Visual Materialism」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「Art in Park Hotel Tokyo 2018」展示 (パークホテル東京)

「UNDULATIONISM VI」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「ART BASEL Hong Kong 2018」展示・ライブパフォーマンス (香港会議展覧中心)

Hwajoeng Museum 常設展 (韓国・ソウル)

「飯村隆彦・河合政之 Anatomic Delirium - Synergy of Analog Moving Images」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

2019

「Art in Park Hotel Tokyo 2019」展示 (パークホテル東京)

「UNDULATIONISM VII」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「飯村隆彦・河合政之 Out of Frame」展示 (MORI YU GALLERY 京都)

「COMISARIADOS 2019」 (スペイン・マドリッド、Sala El Águila)

2020

「台北當代 2020」展示 (台湾、台北南港展覧館)

「Strangelove Festival」上映 (イギリス、オンライン)

2021

「Art Collaboration Kyoto 2021」展示 (国立京都国際会館、京都)

2022

「アートフェア東京 2022」展示 (東京国際フォーラム)

「Landscape after March 11th」上映 (中国・成都、成都時代美術館)

「Undulations 2022」展示 (CADAN 有楽町、東京)

「アート大阪 2022」展示 (大阪市立中央公会堂)

「ビデオライブパフォーマンスの夜」ライブパフォーマンス (KOCA、東京)

「大田区オープンアトリエ」展示 (東京)

2023

「マツモト建築芸術祭」展示 (松本)

「Undulations 2023」展示 (CADAN 有楽町、東京)

「アート大阪 2023」展示 (大阪市立中央公会堂)

「STOPOVER」ライブパフォーマンス (KOCA、東京)

「大田区オープンアトリエ」展示 (東京)

2024

「マツモト建築芸術祭」展示 (松本)

「アート大阪 2024」 展示（大阪市立中央公会堂）

### オーガナイズした展覧会等（主なもの）

- 1999-2004 「Videoartist Workshop」 企画、総合ディレクション（東京、京都、神戸など各地にて開催）  
2001-2004 「Videoart Channel」 企画、総合ディレクション（ビデオアートセンター東京月例上映会：約30回）  
2001-2004 「Phaidros cafe Video Art Showing」 企画、総合ディレクション（ファイドロス・カフェ月例上映会：約30回）  
2002 「inVex 日欧新世代ビデオアート交流展」 企画（art Lab. Goldenshit）  
2002 「ビデオアートネットワーク展 telepidemic!（神戸アートビレッジセンターとの共催）」 企画（神戸アートビレッジセンター他、海外へ巡回）  
2002 「モーリス・ルメートルとレトリズム展（東京日仏学院との共催）」 企画、総合ディレクション（東京日仏学院）  
2003 「アジアビデオアート会議（AVICON）」 企画（ポーラミュージアムアネックス）  
2004 「Video Zone 2」 日本実験映像プログラムキュレーション（イスラエル・テル・アヴィヴ）  
2008-09 「visual philosophy salon vol.0-2」 企画、総合ディレクション、司会（東京、アップルストア銀座）  
2009 「Hors Pistes Japon」 日本実験映像プログラムキュレーション（東京日仏学院）  
2011 「Hors Pistes Tokyo 2011」 プログラムディレクター（アップリンク、スーパーデラックス、M Bar）  
2012 「Hors Pistes Tokyo 2012」 プログラムディレクター（アップリンク、原美術館、東京日仏学院、M Bar、VACANT、WWW）  
2013 「映像はもう始まったか vol.1-4」 企画（東京、dommune）  
2015-2-16 「TTM: ignition\_box ライヴパフォーマンスとしての映像／ビデオアート」 企画（東京都庭園美術館）  
2016 「HORS PISTES TOKYO 2016」 ゼネラルディレクター（アップリンク、スーパーデラックス）

### テレビ放映

- 2007 「大進撃放送BONZO!」（TOKYO MX）  
"Silver Spoon"（1998 4min.）全編、"不在者を観ることについて"（2004 37min.）部分、  
"Yamato-takeru"（2005 60min.）部分を二週に渡り放映。

### レビュー／プレビュー（主なもの）

- 2002  
「Theology of Spectacle」, マッケンジー・ワーク、Nettime、<http://www.nettime.org/Lists-Archives/nettime-l-0211/msg00029.html>  
2004  
「SENI - Home Front」展カタログ, 作家へのインタビュー、シンガポール美術館、シンガポール

「Twilight Tomorrow」展カタログ、ジュン・ヤップ、シンガポール美術館、シンガポール  
2005

「A propos de Nice and the Extremely Necessary, Permanent Invention of the Cinematic Pamphlet」、ニコル・ブレネーズ、[http://www.rouge.com.au/7/propos\\_de\\_nice.html](http://www.rouge.com.au/7/propos_de_nice.html)

「Prog:me」展カタログ、Centro Cultural Telemar、Brasil

2009

「可愛げのない河合の神学」『現代美術巷談その後』中村敬治、水声社

2013

「Round Up of ART OSAK 2013」reviewd by Darryl Wee, Blouinartinfo online, <http://www.blouinartinfo.com/news/story/932032/art-osaka-2013-roundup-of-an-active-week>

2015

「VIDEORGANISM- Infinite Mutation at Chi-Wen Gallery」、art in asia, <http://www.artinasia.com/galleryDetail.php?catID=0&galleryID=99&view=7&eventID=27048>

「混種現場創作無疆界」、ARTouch online, Nov. 05, 2015, <https://artouch.com/view/content-1414.html>

「看音樂，聽畫面，混作伙」，reviewed by 司徒嘉慧，天下雜誌，online, Nov. 13, 2015, <https://www.cw.com.tw/article/article.action?id=5071544>

2016

「河合政之「natura : data」」高嶋慈、レビュー、artscape, [https://artscape.jp/report/review/10120644\\_1735.html](https://artscape.jp/report/review/10120644_1735.html)

2018

「Art Basel・圖輯」，reviewed by 黃正軒，香港01芸術三月 online, Mar 28, 2018, <https://campaign.hk01.com/artmarch/article/172608>

「Ein Besuch auf dem größten Kunstmarkt der Welt」reviewed by Jan Küveler, Welt online, Apr. 01, 2018, <https://www.welt.de/kultur/kunst/article175059853/Besuch-auf-dem-dynamischsten-Kunstmarkt-der-Welt.html>

「Facing The Fundamentals – Highlights & Trends From Art Basel Hong Kong – 2018」reviewed by Dan Kadison, Mar. 29, 2018, Newswhistle online, <http://newswhistle.com/facing-the-fundamentals-highlights-trends-from-art-basel-hong-kong-2018/>

「From Frog King to Guerrilla Girls: The art world heads east」reviewed by Pristine L. De Leon, Apr. 09, 2018, Philstar Global online, <https://www.philstar.com/lifestyle/arts-and-culture/2018/04/09/1804035/frog-king-guerrilla-girls-art-world-heads-east#ofDurf84OhxXoMBq.99>

「遇見未知| Art Basel 香港巴塞尔艺术展」Aug. 22, 2018, ITACASA online, <https://m.itacasa.com/news/detail/7cfd11a2-65c2-4e92-b0bd-3d89d69973c3>

「ASIA NOW 2018: Programming」Sep. 28, 2018, Artsy online, <https://www.artsy.net/article/asia-now-asia-2018-programming>

「The Japanese Artists You Should Know at Asia Now」reviewed by Holly Black, Oct. 19, 2018, Elephant online, <https://elephant.art/japanese-artists-know-asia-now/>

「Le Japon dans tous ses états à la foire Asia Now à Paris」reviewed by Léo de Boisgisson, Oct. 18, 2018, Asialyst online, <https://asialyst.com/fr/2018/10/18/japon-dans-tous-ses-etats-foire-asia-now-paris/>

「一个巴黎艺博会，为何在四年中坚持聚焦亚洲当代艺术？」reviewed by Jessica Zhang, Oct. 19, 2018, ARTNET 新聞, <https://www.artnetnews.cn/art-world/yigebaliyibohuiweihezaisinianzhongjianchijujiaoyazhoudangdaiyishu-99631>

yigebaliyibohuiweihezaisinianzhongjianchijujiaoyazhoudangdaiyishu-99631

「Asia now met le Japon à l'honneur」The Art Newspaper, Numéro 1, Octobre 2018

「FIAC 2018: Les découvertes du «off»」by Béatrice de Rouchebouët and Sophie de Santis, Le Figaro fr lifesyle and Le Figaroscope, 10-16, Octobre, 2018

2020

「生命体としてのヴィデオ・アートとは？河合政之の個展「カオスモス」がCAPSULEで開催中」レビュー、美術手帖Web版、<https://bijutsutecho.com/magazine/news/exhibition/21376>

2023

「近現代建築と気鋭の芸術家コラボ 松本市で建築芸術祭」安田琢典、朝日新聞デジタル、Feb. 4, 2023, <https://www.asahi.com/articles/ASR2376NPR23UOOB001.html>

「『マツモト建築芸術祭 2023』レポート。アート作品を通じて『名建築にしていく』芸術祭とは？」浅見悠吾、TokyoArtBeat フォトレポート、Feb. 5, 2023, <https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/Matsumoto-Architecture-Art-Festival-2023-report-202302>

「『マツモト建築芸術祭 2023』レトロ建築とアートがコラボ！」Yasuda Kaoruko、Elle Online, Feb. 9, 2023, <https://www.elle.com/jp/decor/art/g42700788/matsumotoarchitectureartfestival-23-0200/>

2024  
「23日開幕!! マツモト建築芸術祭 取り壊される旧市立博物館が主会場」信濃毎日新聞デジタル、Feb. 22, 2024, <https://news.line.me/detail/oa-shinmai/igvmsjz63clf>

「マツモト建築芸術祭でしかできない7のこと」reviewed by Runa Akahoshi, TimeOut.jp, Feb. 23, 2024, <https://www.timeout.jp/tokyo/ja/news/things-to-do-at-the-matumoto-building-art-festival-2024-022324>

「マツモト建築芸術祭2024」開幕レポート。解体予定の博物館で現代美術を鑑賞」王崇橋、美術手帖オンライン、Feb. 23, 2024, <https://bijutsutecho.com/magazine/news/report/28524>

「『マツモト建築芸術祭』開幕 取り壊し前の旧市立博物館を中心に市内3カ所で」松本経済新聞、Feb. 26, 2024, <https://matsumoto.keizai.biz/headline/3999/>

「『マツモト建築芸術祭 2024 ANNEX』レポ。松本城敷地内〈旧松本市立博物館〉で失われゆく建築をアートが寿ぐ。」reviewed by Toshie Oowa, Casa Brutus Online, Mar. 1, 2024, <https://casabrutus.com/categories/art/397681>

「『マツモト建築芸術祭 2024 ANNEX』レポ。松本城敷地内〈旧松本市立博物館〉で失われゆく建築をアートが寿ぐ。」BIZALOT, Mar. 1, 2024, <https://www.bizalot.net/casa/culture/2157490/>

「マツモト建築芸術祭 2024 ANNEX、『須藤康花 一光と闇の記憶一』」五十嵐太郎、Artscape レビュー、Apr. 1, 2024, <https://artscape.jp/article/9441/>

「Art Osaka: Japan's Oldest Contemporary Art Fairs」reviewed by Colin Smith, Jul. 22, 2024, Osaka.com, <https://www.osaka.com/thingstodo/art-osaka-japans-oldest-contemporary-art-fair-expands/>

「Art Osaka 2024 Receipts: Bigger Bargains in Kansai」Jennifer Pastore, Ocula, Jul. 22, 2024, <https://ocula.com/magazine/art-news/art-osaka-2024-receipts-bigger-bargains-in-kansai/>

## レクチャー・シンポジウム (主なもの)

2001 "Batofar Cherche Tokyo" メインシンポジウム (パリ・ラヴィレット)

2003 アジアヴィデオアート会議 (AVICON) メインシンポジウム (東京・ポーラミュージアムアネックス)

2004 「クザーヌスと現代」対談者：八巻和彦 (トーキョーワンダーサイト本郷)

2008 日本映像学会第34回大会 メインシンポジウム「映像における実験性」対談者：アルフレッド・ロタート、マリナ・コズル、パク・ドンヒョン、司会：相内啓司

2008-09 「visual philosophy salon」全三回 (東京、アップルストア銀座)

2009 Hors Pistes Japon 「映像の冒険 - 身体を持つ思想へ」対談者：飯村隆彦、宇野邦一 (東京日仏学院)

2011 Hors Pistes Tokyo 2011 「映像の強さと無力さについて」対談者：諏訪敦彦、ホンマタカシ (東京、M Event Space & Bar)

2012 Hors Pistes Tokyo 2012 「脱映画の映像のススメ」対談者：澤隆志、平林勇 (東京、アップリンク)

2012 「映像、ファッション、グラフィティーグラフィズムの現在進行形」 「没後3年 マクリヒロゲル、粟津潔の世界」展関連トーク 対談者：荏開津広、中島敏子、林央子 (東京、ヒルサイドフォーラム)

2013 日本映像学会第39回大会 メインシンポジウム「out of control - 映像的思考をめぐって」対談者：兼子正勝、キム・ジュニアン、北野圭介、司会：波多野哲朗

- 2013 「映像はもう始まったか vol.1, 3, 4」対談者：飯村隆彦、大林宣彦、小林康夫、ジュリアン・ロス、瀧健太郎他（東京、dommune）
- 2013 「ヴィジュアル・フィロソフィ航海図」対談者：宇野邦一（東京、立教大学）
- 2014 モリユウギャラリー レクチャー「古典から現代にいたるノイズ=映像」（モリユウギャラリー東京）
- 2015 「連続の纏れ／記憶の焼結展 合同シンポジウム」対談者：小林康夫、黒田アキ、近藤高弘、松井紫朗（京都市美術館）
- 2015 京都精華大学 芸術学部・大学院 芸術研究科2015年度 公開連続レクチャー アートはどこに行くのか？：アートと社会の未来を考える「出来事としてのアートと映像表現、あるいは哲学との融点を巡って」対談者：瀧健太郎、小林康夫
- 2016 「THE MOVING IMAGE RESEARCH LABORATORY (MIRL) @ McGill PRESENTS -RHYTHM OF VIDEO FEEDBACK」レクチャー（McGill University, Montreal, Canada）
- 2016 「Media as Singularities」レクチャー&シンポジウム（NYU Einstein Auditorium, NY, USA）対談者：Tom Looser（NYU）、Zhen Zhang（NYU）、原島大輔（東京大学）

## 審査員

- 2005 メディアアートフェスティバル「Prog:me」審査員
- 2012 第58回オーバーハウゼン国際短編映画祭 国際コンペティション部門審査員

## 著作（主なもの）

- 2001 『Re-site』、Spread Videoart Project、東京
- 2002 「ヤング・ビデオ・アーティスト・イニシアティブ」展リーフレット、森美術館  
「モーリス・ルメートルとレトリズム」展カタログ、ビデオアートセンター東京  
「TELEPIDEMIC!」展カタログ、ビデオアートセンター東京  
『Tokyo Videoart vol.1』、ビデオアートセンター東京
- 2003 「アジアビデオアート会議」展カタログ、ビデオアートセンター東京  
『Tokyo Videoart vol.2』、ビデオアートセンター東京
- 2004 「Video as Reflection」、"Video Zone 2" カタログ、イスラエル  
『情報社会を知るクリティカル・ワーズ』（共著、田畑暁夫編、フィルムアート社）  
「Why video artists in the twilight time?」、"Twilight Tomorrow" 展カタログ、シンガポール美術館、シンガポール  
「乏しき時代のメディアアーティスト」、『BT』 2004年6月号、デジタルフォトグラフィ特集、美術出版社
- 『アニュアル・レポート』、トーキョーワンダーサイト、東京都
- 2005 『アートという戦場 ソーシャルアート入門』（シチュアシオニストおよびレトリストについてのエッセイ、フィルムアート社）
- 2008 「安藤忠雄とトーキョーワンダーサイト」『intoxicate』（タワーレコード）  
「ビデオ芸術の編集と美学」、『現代社会学叢書1 映像編集の理論と実践』（金井明人・丹羽美人編、法政大学出版局）

- 2010 「映画から遠く離れて、現代美術に反対して」、月刊『あいだ』167号
- 2013 「電子映像の遍在性とビデオアート—もうひとつの批判的実践の鉅脈」、『現代社会学叢書10 メディア環境の物語と公共圏』（金井明人・土橋臣吾編、法政大学社会学部科研究費プロジェクト論文集）
- 2013 『僕らは映像で思考する - シームレス・メディアの時代と video art (見ることの技術／芸術)』 REF lab. (河合政之+小倉裕介) 編、現代企画室
- 2013 「達人たちの世界—花田清輝と小林秀雄、あるいはポスト3・11のメディア社会批判」月刊『あいだ』204号
- 2015 「欲望のアナログな流れ」（宇野邦一との対談）宇野邦一編『ドゥルーズ・知覚・イメージ』せりか書房
- 2015 「いたるところに、芸術と思想の地平を開く」日本映像学会会報第172号
- 2018 『リフレクション ヴィデオ・アートの実践的美学』水声社
- 2020 「ビデオ・アートの現在形—自作《Video Feedback》シリーズをめぐって」、『東京造形大学 研究報20』
- 2022 「時をフィードバックする友、飯村隆彦」『コメット通信26号』水声社
- 2023 「飯村隆彦のフィルムとビデオ：《Film Strips》／《Time Tunnel》」飯村隆彦 ヴィデオ・フィールド：ビデオテープ作品総目録」ビデオアートセンター東京・MORI YU GALLERY

## 教育活動

- 2002 マルセイユ芸術大学特別講義（日本のビデオ・アートについて）
- 2004 阿佐ヶ谷美術学校集中講座（ビデオ・アート実習）
- 2004 菅原学園特別講義（ビデオ・アート論）
- 2007 青山学院大学ゲスト講義（コミュニケーション論）
- 2008 カリフォルニア大学サマーセッション特別講義（映像論）
- 2008より2014 阿佐ヶ谷美術学校非常勤講師（メディア論）
- 2009より2019 東京造形大学非常勤講師（映像論）
- 2013より2018 東北芸術工科大学非常勤講師（メディア拡張演習）
- 2019 東京大学ゲスト講師（教養としての芸術学）
- 2023 法政大学非常勤講師（社会学部メディア学科）
- 2021より現在 東京工業大学非常勤講師（多文化理解）

## 作品歴

### Single-channel works

- "Interview" (1994-1995 54min.)
- "Tender Be Naked" (1996 7min.)
- "Girls & Boys" (1996 18min.)
- "the Wall -ethics of terrorists-" (1997 43min.)
- "A Videonote about an Affair in the Life of a Woman" (1997 30min.)
- "Silver Spoon" (1998 10min.)

"Insect" (1998 6min.)  
 "Radioactive" (1998 11min.)  
 "Whirlpool" (1998 2min.)  
 "Your Passion Cannot Rape an Illusion" (1998 4min.)  
 "Time Study 1" (1998 2min.)  
 "Time Study 2" (1998 2min.)  
 "Silver Spoon" (1998 4min.)  
 "Dragon" (1998 6min.)  
 "Calm" (1998 11min.)  
 "Ethics" (1998 9min.)  
 "Heartache Runs" (1998 1min.)  
 "Tokyo Color Scene" (1998 19min.)  
 収蔵：国立国際美術館  
 "Noise Jam" (1998 11min.)  
 "a ≠ a あるいは踊り続けるデヴァタたちのために" (2000 16min.)  
 入選／展示：ヨーロッパメディアアートフェスティバル2001、2001年ボーフム国際ビデオフェスティバル11  
 (審査員奨励賞受賞)、d>art 01／シドニー映画祭、メディアアートフェスティバル・フリーズラント2001、第  
 15回リーズ国際映画祭、Viper 21、2002年ロッテルダム国際映画祭、シンガポール国立美術館 (SENI展)、  
 Art in General (米) その他多数。  
 収蔵：東京工芸大学図書館  
 "スペクタクルの社会における神学的状況について" (2001 6min.)  
 入選／展示：マイクロウェブフェスティバル2001 (香港)、第15回リーズ国際映画祭 (英)、クレルモンフェ  
 ラン短編映画祭 (仏)、ヨーロッパメディアアートフェスティバル2002 (独)、2002年ボーフム国際ヴィデ  
 オフェスティバル12 (独)、2002年オーバーハウゼン国際短編映画祭(審査員奨励賞受賞)、2002年ハンブルグ  
 国際短編映画祭 (独)、ETIUDA 2002 IX 国際映画祭 (ポーランド)、festival e-phos 2002 (ギリシャ)、  
 (独) Festival des Cinema Differents de Paris (仏)、クルティザンヌ短編映画祭 (ベルギー)、  
 Cinematheque Francaise (仏)、ニューヨークアジア現代芸術週間 (米)、Artists Space (Open Call 展)  
 (米)、シンガポール国立美術館 (Twilight Tomorrow 展)、Centro Culturale Telemar (prog:me展) (ブラ  
 ジル) その他多数。  
 収蔵：オーバーハウゼン国際短編映画祭、クイーンズ美術館  
 "Overflow" (2004 1min.)  
 "万葉／東京" (2004 23min.)  
 "De Visione Absentis (不在者を観ることについて)" (2004 37min.)  
 "不在 (Absence)" (シングル・チャンネル・ヴァージョン) (2004 26min.)  
 "Yamato-takeru" (2004-2006 60min.)  
 "Who are these wanderers, even more transient than we ourselves?" (2007 40min.)  
 "Gods Are under the Water" (2007 7min.)  
 "Imaginature" (2008 3min.)  
 "Niagara Hot Spring" (2008 7min.)  
 "IN/OUT" (2009, 5min.)  
 "Marching on the Streets" (2009, 3min.)  
 "Phantasm 2011" (2011, 15min.)  
 "J'ai vu" (2011, 20min.)  
 "Video Feedback Aleatoric" シリーズ (2011-)  
 "Video Feedback Auto-generated Piece" シリーズ (2012-)

## Installation / Sculpture Works

「the Wall -ethics of terrorists-」 (1997)  
「ゆらぎ」 (1999)  
「秘事」 (1999)  
「いや、まったく」 (1999)  
「不在(Absence)」 (2002)  
森美術館「Young Video Artists Initiative」受賞作品  
「不在者のための室一待／如」 (2003)  
"万葉／東京" (2004)  
"De Visione Absentis (不在者を観ることについて)" (2004)  
"Yamato-takeru" (2004-2006)  
"Color Scenes" (2006)  
"The Variations after Kohaku-baizu" (2009)  
"Video Feedback Configuration" シリーズ (2012-)  
"No Signal, Tuned and Framed" (2013)  
"Prepared Video Decks" シリーズ (2015-)  
"Waterfall" (2016)  
"Calcium Waves" (2016)  
"Infinitely Connected" シリーズ (2016-)  
"Tangled TV" シリーズ (2017-)  
"Video Feedback Installation" シリーズ (2018-)  
"Trans-flux" シリーズ (2019-)  
"Three Elements" (2024)